

第15回東邦看護学会学術集会 一般演題プログラム

【口演発表】

第1群 第1会場（第1・第2講義室） 10：40～11：40

座長：小山田恭子（東邦大学看護学部）

- O-1. 転倒危険度が低い消化器疾患患者の転倒要因の分析
佐々木 由比（東邦大学医療センター大森病院）
- O-2. 抗がん剤曝露に対する意識 —研修を受けた看護師と受けていない看護師の意識の違い—
長谷川 亜季（東邦大学医療センター大森病院）
- O-3. 体験記にみる大腸がん患者の治療を受けるまでの心理的变化
中村 香菜子（東邦大学医療センター佐倉病院）
- O-4. 難治性下腿潰瘍を抱えながら生活する患者の思いとセルフケアの実態
竹原 由香里（東邦大学医療センター佐倉病院）
- O-5. 腰椎手術後の安静期間を乗り越えた患者の精神的支えになったもの
鹿角 実希（東邦大学医療センター大森病院）

第2群 第1会場（第1・第2講義室） 11：50～12：40

座長：林 華子（東邦大学佐倉看護専門学校）

- O-6. 高年初産婦の「産後の疲労感」と抑うつ状態との関連
山崎 圭子（東邦大学看護学部）
- O-7. MFICU から一般病棟に転出した妊婦の気持ちの変化について —集団生活を送る切迫早産妊婦に焦点を当てて—
鈴木 由磨（東邦大学医療センター大森病院）
- O-8. 病児保育室に勤務する保育者のストレス分析
山辺 宏美（東邦大学医療センター大森病院 病児保育室）
- O-9. 保育園職員のストーマケアに対する意識 —保育園職員対象の勉強会と質問紙調査を通して医療者による支援を考える—
保刈 伸代（東邦大学医療センター大森病院）
- O-10. 地域で働く介護職者のストーマ講習会による内面的思いの変化
斎藤 容子（東邦大学医療センター大森病院）

第3群 第2会場（第3講義室） 10：40～11：40

座長：大森 郁子（東邦大学医療センター大森病院）

- O-11. A病院における点眼マニュアルの評価
室井 紀子（東邦大学医療センター佐倉病院）
- O-12. 医療従事者の耳ピアス孔および手指における黄色ブドウ球菌の分布
瀧島 章子（東邦大学医療センター大橋病院）
- O-13. 外来通院中の慢性心不全患者の療養生活支援に向けて —拡張型心筋症患者の抱える思いをもとに—
作佐部 千裕（東邦大学医療センター佐倉病院）
- O-14. 当病棟の新人看護師が認識する教育的支援
小笠原 悠（東邦大学医療センター大森病院）
- O-15. 都市部の高齢社会に挑む看護師の養成 —暮らし概論開講に関する実践報告—
御任 充和子（東邦大学看護学部 GP 事業推進室）

【示説（ポスター）発表】

第4群 第3会場（第2実習室） 10：40～11：20

座長：大西まゆみ（東邦大学医療センター大橋病院）

- P-1. 看護提供方式の変更が救命救急センター看護スタッフにもたらす影響 —固定チームナーシングを導入して—
松川 陽子（東邦大学医療センター大森病院）
- P-2. ICUでの終末期ケアにおける看護師のケア困難感と対処の関連
成井 花奈恵（東邦大学医療センター大森病院）
- P-3. A病院ICU・CCUにおける口腔アセスメントの実態調査
藤田 かほ里（東邦大学医療センター佐倉病院）
- P-4. 急性・重症患者看護専門看護師における高度看護実践を行うために必要な臨床実践能力に関する研究
測本 雅昭（東邦大学看護学部非常勤研究員）

第5群 第3会場（第2実習室） 11：50～12：30

座長：徳留 彰子（東邦大学医療センター佐倉病院）

- P-5. エポプロステノール持続静注療法の指導と今後の課題
土谷 朋子（東邦大学医療センター大森病院）
- P-6. 乳幼児の吸入療法におけるディストラクションツール —フレーバー・キャラクターカバーの有用性の検討—
栞原 友美（東邦大学医療センター大橋病院）
- P-7. 1型糖尿病を発症した子どもの疾患理解と治療に取り組む上での支援の必要とその意義
渡辺 悠（東邦大学医療センター大森病院）
- P-8. 腎生検を受ける患児へのプリパレーションと処置中サポートの必要性
原田 香奈（東邦大学医療センター大森病院）
-